

被災地企業代表ら 「二重債務解決を」

参院財政金融委

仙台で意見交換

参院財政金融委員会は

26日、仙台市青葉区のKRホテル仙台で、被災地の金融機関や経済団体の代表者と意見交換した。出席者からは被災者が事業再建などのために借金を重ねる「二重債務」問題の解決を求める声が相次いだ。

非公開で行われた委員会には参院議員20人のほか、宮城、岩手、福島3県の金融機関や中小企業団体の代表ら約20人が出席した。

藤田幸久委員長は「二重債務問題で」切実な声が寄せられた。被災者の実態や希望を把握し、金融機関に役割を果たしてもらうため、国の（対策の）制度設計のスピードをできるだけ速めたい」と述べた。